

(25) 空 手 道

令和7年度第60回群馬県高等学校総合体育大会空手道競技会
兼 令和7年度第54回関東高等学校空手道大会県予選会

- 1 期日及び会場 令和7年5月9日(金)～11日(日)
第1日(9日) 8:00～ ALSOK ぐんまサブアリーナ
第2日(10日) 8:00～ ALSOK ぐんまサブアリーナ
第3日(11日) 8:00～ ALSOK ぐんまサブアリーナ
前橋市関根町800 TEL. 027-234-1200
- 2 競技種目 団体形競技・団体組手競技・個人形競技・個人組手競技(各男女 計8種目)
- 3 競技規定 (公財)全日本空手道連盟競技規定及び全国高等学校体育連盟空手道専門部競技規定に準ずる。
- 4 競技方法 (1)組手団体・個人、男女共にトーナメント方式、形競技は得点方式で行う。
(2)形競技における使用する形の制限については次の通りとする。
【第1ラウンドが4グループ以下の時】
第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第2ラウンド以降は(公財)全日本空手道連盟競技形とし、1度使った形は使えない。
【第1ラウンドが8グループの時】
第1・2ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第3ラウンド以降は(公財)全日本空手道連盟得意形とし、1度使った形は使えない。
※上位ラウンド進出に関わる時とファイナルラウンドの時に同点が出た場合、再演武を行う。再演武で使用する形は当該ラウンドで使った形以外の形とする。以前に本戦で使った形でも良い。再演武で使った形で本戦に使っていない形はそれ以降も使える。
(3)組手競技においては、ベスト16までは試合時間1分30秒で、6ポイント差とする。準々決勝からは、試合時間2分で、8ポイント差とする。
(4)団体競技におけるメンバー及びオーダーは、登録された範囲内で交代できる。
(5)団体形の分解は行わない。
- 5 引率・監督 (1)引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。(ただし、公立学校にあつては教員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
(2)監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 6 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2)選手は、本県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本連盟空手道専門部に登録を完了し、かつ、群馬県空手道連盟に有効に登録を完了していること。
(3)年齢は平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4)チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5)転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。

- 7 出場制限 (1) 団体競技は、形・組手とも1校男女各1チームとする。チームは、監督1名・コーチ1名とする。監督は当該校の教員とする。なお、団体競技の競技者数は、男女組手は7名（正選手5名・補員2名）、形は6名（正選手3名・補員3名）とする。ただし、組手は規定の過半数の選手（5名中3名）で成立する。また、形については規定の数を満たさなければ成立しない。
- (2) 個人競技は次のとおりとする。
- A. 組手は、男女とも正選手4名までとする。（補欠2名）
- B. 形は、男女とも正選手4名までとする。（補欠1名）
- 8 表彰 ・ 団体・個人、男女とも各種目3位まで、学校別総合は6位まで表彰状を授与し、男子総合優勝校及び女子総合優勝校に楯（持ち回り）をそれぞれ授与する。
- 9 申込み方法 ・ 当該学校長の責任において、所定の様式により定められた期限までに申し込むものとする。
- ・ 申込みはファイルに入力のうえ、4月16日（水）までに下記へメールで申し込むこと。
- karate_hs@yahoo.co.jp
- 不明な点は（前橋工業高校内）吉野友晴まで TEL. 0270-25-4551
- ※個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- 10 プロ編成会議 ・ 4月22日（火）午前9時より、群馬県立伊勢崎商業高等学校において常任委員会の責任抽選により決定する。
- 11 関東大会出場権 ・ 団体種目男女上位4チーム、個人種目上位4名は、6月7日（土）～8日（日）、東京都で行われる令和7年度第54回関東高等学校空手道大会の出場権を得る。
- 12 その他 (1) 組手出場者は次の安全具（JKF公認）を装着しなければならない。シンガード及びインステップガードは全国高体連指定品でなければならない。
1. メンフォーVI・VII
 2. 拳サポーター（赤・青）
 3. ボディープロテクター
 4. シンガード・インステップガード
 5. セイフティーカップ（男子のみ）
- ※マウスピースを使用しても良い（任意）。ただし、色は白色か透明なものとする。
- (2) 出場選手の左胸に規定の大きさの校名マーク、左肩に県名マークを付けなければならない。
- (3) 個人名の刺繍を入れる場合は黒色とし、姓（名字）又はフルネームであることが望ましい。（個人名はなくてもよい）指定箇所以外の刺繍は禁止する。
- (4) 事故の処置については、応急手当は大会本部で行うが、その後の処置については各校で対応する。（保険証持参）
- (5) 新型コロナウイルスの対応については、原則、各中央競技団体のガイドラインや自治体の指針に従うこととし、その他、教育委員会や高体連事務局からの方針等があった際はそれに従うこととする。